

江南湖北

学校だより平成29年度 3月号
我孫子市立湖北台西小学校
我孫子市湖北台8-17-1
Tel 7188-1123 児童数324名

平成29年度 学校教育目標

確かな学力を持つ子 優しい心を持つ子 健康でたくましい子

★合言葉『西っ子 素直に一生懸命』

校長先生の小部屋』



◇感謝の思いをこめて

まだまだ寒い日もありますが、桃のつぼみがふくらみはじめ少しずつ春の気配が感じられるようになりました。保護者の皆様・地域の皆様におかれましては益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

先月は、5年生の感謝の会、学習参観・懇談会、PTA 総務会等で大変お世話になりました。

3月には、「卒業を祝う会」や「卒業証書授与式」でこれまでの1年間を振り返り、湖北台西小学校の児童としての自覚と誇り、これまで成長してきたことに対して、感謝の思いを持てるように進めていきたいと思えます。

◇啐啄同時 ～1年間を振り返って～

禅の言葉に「啐啄同時」というのがあります。野鳥にとっては卵の中のヒナ鳥が殻を破ってまさに生まれ出ようとする時、卵の殻を内側から雛がコツコツとつつくことを「啐」といい、ちょうどその時、親鳥が外から殻をコツコツとつつくの「啄」といいます。雛鳥が内側からつつく「啐」と親鳥が外側からつつく「啄」とによって殻が破れて中から雛鳥が出てくるそうです。



両方が一致して雛が生まれる「機を得て両者相応じる得難い好機」のことを「啐啄同時」というのです。親鳥の啄が一瞬でもあやまると、中のヒナ鳥の命があぶない、早くてもいけない、遅くてもいけない、まことに大事なそれだけに危険な一瞬であり啐啄は同時でなくてはなりません。

教育の面でも、学校や家庭の指導と子どもの自発が一致した時、それはきっと素晴らしい効果をあげるでしょう。

今年度もあとわずか。いよいよカウントダウンです。教科の学習はもちろんですが、「命の学習」という、生きていくための大切な学習も今が「啐啄同時」の好機ととらえ、各学年で計画的に行われています。子どもたちは、命の大切さをしっかりととらえ、今後の自分の生き方に重ね合わせていこうという姿勢がたくさんありました。まさに「啐啄同時」を体験したように思いました。今後も、素晴らしいこの言葉を大切に、今年度のまとめをしっかりと行い、次年度への橋渡しをしていきたいと思えます。